



第 1 章 導入方法

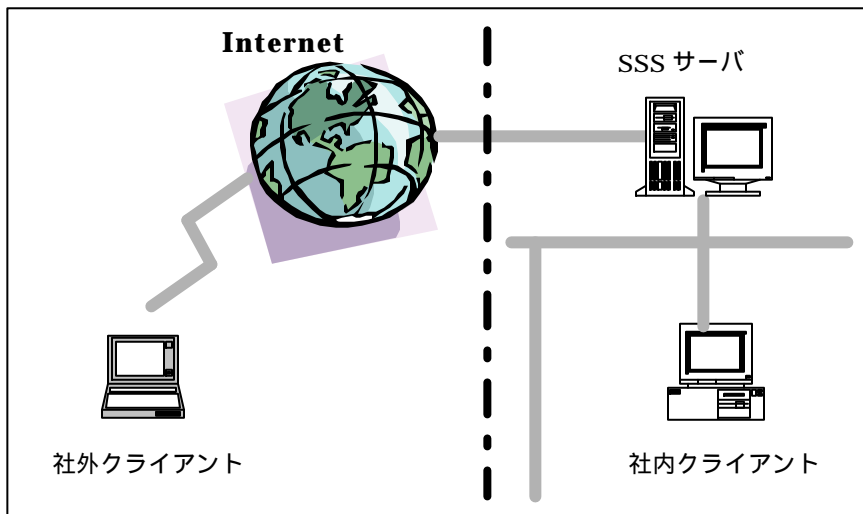
『SSS』のインストールと、運用開始前に必要な初期設定について説明します。

SSS のインストールは、とても簡単です。

サーバに Windows を御使いになる場合、ダウンロードしたファイルをダブルクリックすることでインストールが開始します。

その他、UNIX 系の OS を御使いになる場合でも、パッケージというファイルから、コマンド 1 つでインストールが可能です。

サーバとしてお使いになるマシンが、インターネットからもアクセス可能な場合、SSS をインストールしていただくことで、社外（インターネット経由）からの使用も可能です。



インストールしていただいた“SSS”には、40日間の試使用期間が設けられています。ご購入前に、必ず御使いいただけますようお願いいたします。



1.1 インストール

Windows2000、RedHatLinux6.1、Solaris2.6 をサーバとして御使いになる場合のインストール方法をそれぞれ説明します。

1.1.1 Microsoft Windows2000 にインストールする

Microsoft Windows 2000 をサーバとして御使いいただく場合、以下の手順により“SSS”のインストールを行ってください。

まずは、インストール可能な環境であることを確認し、必要に応じて Web サーバのインストールを行ってください。

1.1.1.1 インストール前の確認

サーバとして御使いいただく、Windows2000 上で、IIS5.0 が正常に動作していることをご確認ください。

IIS5.0 がインストールされていない場合、Windows2000 の CD-ROM より IIS5.0 のインストールを行ってください。

(インストール方法につきましては、Windows2000 のインストールガイドをご参照ください。)

1.1.1.2 ダウンロード

株式会社ネオジャパンの Web サイトより、“SSS”の Windows 版をダウンロードするか、もしくは CD-ROMをお持ちでしたら、CD-ROM より、“SSS”のインストールモジュールをご用意ください。

1.1.1.3 インストール

SSS のインストールモジュールを、マウスでダブルクリックし、インストールを開始します。

インストールモジュールを、ダブルクリックするとインストーラーが起動しますので、以下の手順に従ってインストールを実施してください。



インストール手順

- | | |
|------------|---|
| i. ようこそ | <p>インストーラーを起動すると、「ようこそ」画面が表示され、インストールが開始します。</p> <p>「次へ>」ボタンをクリックし、次の画面へ移動します。</p> |
| ii. 会社名の入力 | <p>会社名の入力画面が表示されます。</p> <p>ここでは、ご自分の会社名を入力し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。</p> |



- | | |
|---------------------|---|
| iii. 「製品ライセンス契約」の確認 | <p>「製品ライセンス契約」内容が表示されます。</p> <p>[PageDown]キー、もしくは画面内のスクロールバーを使用し、契約内容をご確認ください。</p> <p>確認後は「次へ>」ボタンをクリックしてください。</p> |
|---------------------|---|



- | | |
|------------------------------------|--|
| iv. インストール先の選択 (Web サーバ ホームディレクトリ) | <p>イメージファイルおよび、JavaScript ファイルのインストール先を選択します。</p> <p>Web サーバのホームディレクトリに指定されている物理フォルダを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。</p> |
|------------------------------------|--|
-

第 1 章 導入方法



- v. インストール先の選択 (SSS 本体、データ格納先) プログラムファイル、およびデータファイルのインストール先を選択します。Web サーバ上で、「実行」アクセス権の設定されている物理フォルダを選択して、「次へ>」ボタンをクリックしてください。



- vi. インストール内容の確認 上記全ての指定が終了すると、最後に、インストール内容の確認画面が表示されます。入力内容に誤りがない場合、「次へ>」ボタンをクリックすると、インストールを開始されます。入力内容に誤りがある場合、「< 戻る」ボタンをクリックし、訂正したい項目まで戻ってください。



- vii. 完了 インストール完了です。

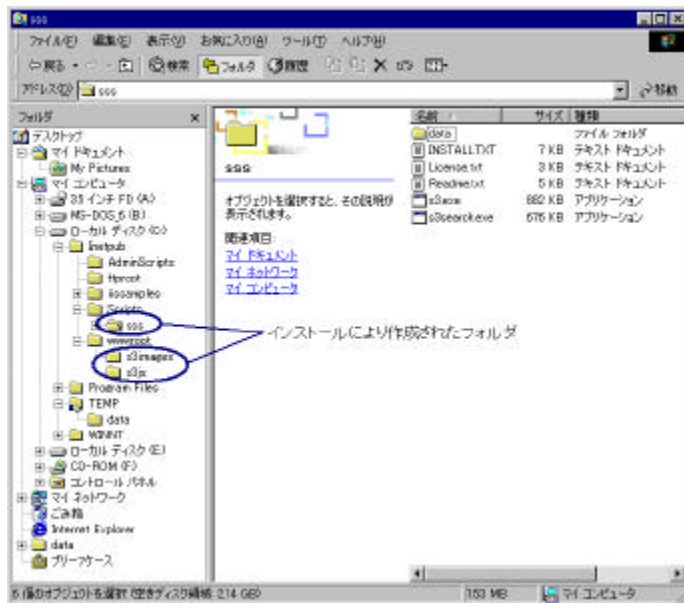


インストールが完了すると、最後に「完了」画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、インストールを終了してください。



1.1.1.4 インストール終了

全てのインストール作業が完了すると、以下のように、インストール先に指定したフォルダ内に、イメージファイル、JavaScript ファイル、実行モジュール、データが展開されます。



1.1.1.5 その他の Windows 系 OS にインストールする

Windows2000 以外の、Windows 系 OS をサーバとしてお使いになる場合、「WindowsNTServer」、「WindowsNTWorkstation」、「Windows98」、「Windows95」が御使いいただけます。

第 1 章 導入方法



その場合、各 OS で御使いいただける Web サーバは以下の通りとなります。

OS	Web サーバ
Windows2000 Server / Professional	IIS5.0
WindowsNTServer4.0	IIS2.0、IIS3.0、IIS4.0 Apache for Win32 Oracle Web Application Server Oracle Application Server Netscape Enterprise Server
WindowsNTWorkstation4.0	Peer Web Services Apache for Win32 Oracle Web Application Server
Windows98	Personal Web Server4.0 Apache for Win32
Windows95	Personal Web Server4.0 Apache for Win32



1.1.2 RedHat Linux 6.1 にインストールする

RedHatLinux6.1 をサーバとして御使いたい場合、以下の手順により“SSS”のインストールを行ってください。

まずは、インストール可能な環境であることを確認し、必要に応じて Web サーバのインストールを行ってください。

1.1.2.1 インストール前の確認

サーバとして御使いたい、RedHatLinux6.1 上で、Apache が正常に動作していることをご確認ください。

Apache がインストールされていない場合、RedHatLinux6.1 の CD-ROM、もしくは、Apache の Web サイトよりダウンロードし、Apache のインストールを行ってください。

(Apache Web サイト : <http://www.apache.org>)

1.1.2.2 ダウンロード

株式会社ネオジャパンの Web サイトより、“SSS”の RedHatLinux 版をダウンロードするか、もしくは CD-ROM をお持ちでしたら、CD-ROM より、“SSS”のインストールモジュールをご用意ください。

1.1.2.3 インストール

SSS のインストールモジュールを、サーバに転送し、インストールを開始します。

インストール手順

- | | |
|-------------------|---|
| i. ファイルの転送 | SSS のインストールモジュールを、サーバへ FTP でバイナリ転送します。 |
| ii. telnet にてログイン | サーバへ telnet にてログインします。
ログイン後は、“root”ユーザへスイッチし、転送したインストールモジュールがあるディレクトリまで移動します。 |

```
## su - root
```

```
## Password:****
```

第 1 章 導入方法



	<pre>❏❏ cd /home/ioffice</pre>
iii. インストール済み パッケージの確認	サーバに、SSS が既にインストールされていないかを確認する。 <pre>❏❏ rpm -aq grep ioffice</pre> 既にインストールされている場合、インストール済みの “SSS” をアンインストールし、残っているファイルおよびディレクトリを全て削除してください。
iv. インストール	Rpm コマンドを使用して、“SSS” をインストールします。 <pre>❏❏ rpm -i xxx-xxx-xxxx.rpm</pre>
v. インストール後の 確認	上記 rpm コマンドにてインストール実行後、下記ディレクトリを確認する。 <pre>❏❏ cd /home/httpd/cgi-bin/sss ❏❏ ls ❏❏ /data ❏❏ /page ❏❏ s3.cgi* ❏❏ s3search.cgi* ❏❏ s3travel.cgi* ❏❏ ❏❏ cd /home/httpd/html ❏❏ ls ❏❏ /s3images ❏❏ /s3js</pre>
vi. 完了	インストール完了です。 インストールに使用したインストールファイルは必要でなければ削除し、サーバからログア



ウトしてください。

注意

Apache の設定（実行ユーザ、グループ）を変更している場合、上記インストールのままでは正常に動作できない場合があります。

設定ファイルを確認し、インストールされたファイルおよびディレクトリのオーナーを変更するようにしてください。

1.1.2.4 その他の Linux 系 OS にインストールする

RedHatLinux6.1 以外の、Linux 系 OS をサーバとしてお使いになる場合、以下のディストリビューションが御使しいただけます。

それぞれのディストリビューションに対応した、“SSS”のインストールモジュールを入手し、インストールしてください。

ディストリビューション	バージョン
RedHat Linux	5.1、5.2、6.0、6.1、6.2 ServerEdition6.0
Turbo Linux	3.0、4.0、Pro4.2 Server1.0、1.2、6.0、6.1、6.5
LASER5 Linux	6.0、6.0 Rel2
Vine Linux	1.0、1.1、2.0
Debian Linux	2.0
プロサーバ for Linux	2.0
Caldera Open Linux	2.3
Slackware Linux	3.6
Plamo Linux	1.3
Cobalt	Qube2(J) Qube3(J) RaQ2(J) RaQ3(J) RaQ4r(J)
MM-Qube、MM-Qube2	





1.1.3 Solaris 2.6 にインストールする

Solaris 2.6 をサーバとして御使いいただく場合、以下の手順により “SSS” のインストールを行ってください。

まずは、インストール可能な環境であることを確認し、必要に応じて Web サーバのインストールを行ってください。

(Web サーバには、“Apache” を御使いいただくことを前提にご説明いたします。また、Apache は「/usr/local/apache」にインストールされていることを前提にご説明いたします。)

1.1.3.1 インストール前の確認

サーバとして御使いいただく、Solaris 2.6 上で、Apache が正常に動作していることをご確認ください。

Apache がインストールされていない場合、Apache の Web サイトよりダウンロードし、Apache のインストールを行ってください。

(Apache Web サイト : <http://www.apache.org>)

1.1.3.2 ダウンロード

株式会社ネオジャパンの Web サイトより、“SSS” の Solaris 版をダウンロードするか、もしくは CD-ROM をお持ちでしたら、CD-ROM より、“SSS” のインストールモジュールをご用意ください。

1.1.3.3 インストール

SSS のインストールモジュールを、サーバに転送し、インストールを開始します。

インストール手順

- | | |
|---------------------|--|
| vii. ファイルの転送 | SSS のインストールモジュールを、サーバへ FTP でバイナリ転送します。 |
| viii. telnet にてログイン | サーバへ telnet にてログインします。
ログイン後は、“root” ユーザへスイッチし、転送したインストールモジュールがあるディレクトリまで移動します。 |
-

第 1 章 導入方法



```
❏❏ su - root
❏❏ Password:****
❏❏ cd /home/ioffice
```

ix. インストール済みパッケージの確認 サーバに、SSS が既にインストールされていないかを確認する。

```
❏❏ pkginfo all | grep ioffice
```

既にインストールされている場合、インストール済みの“SSS”をアンインストールし、残っているファイルおよびディレクトリを全て削除してください。

x. インストール Pkgadd コマンドを使用して、“SSS”をインストールします。

```
❏❏ pkgadd -d xxx-xxx-xxxx.pkg iofSSS
```

インストール先のディレクトリは、Apache の設定で、「実行」アクセス権が設定されている共有ディレクトリを指定してください。

xi. インストール後の確認 上記 pkgadd コマンドにてインストール実行後、下記ディレクトリを確認する。

```
❏❏ cd /usr/local/apache/share/cgi-bin/sss
❏❏ ls
❏❏ /data
❏❏ /page
❏❏ /s3images
❏❏ /s3js
❏❏ s3.cgi*
❏❏ s3search.cgi*
❏❏ s3travel.cgi*
```

インストールされた「s3images」, 「s3js」ディ



レクトリを、Web サーバ (Apache) のホームディレクトリ (DocumentRoot) に移動します。

```

❧❧ mv
    s3images
    /usr/local/apache/share/htdocs/.

❧❧ mv s3js
    /usr/local/apache/share/htdocs/.

```

xii. オーナーの変更 インストールしたファイルおよびディレクトリのオーナーを Apache の実行ユーザ、グループに変更します。

Apache のオーナーは、「/usr/local/apache/etc」下の「httpd.conf」ファイルにて確認してください。

「httpd.conf」内の「User」、 「Group」の設定が・・・

User nobody

Group nobody

の場合、

```

❧❧ chown -R nobody:nobody
    /usr/local/apache/share/cgi-bin/sss

❧❧ chown -R nobody:nobody
    /usr/local/apache/share/htdocs/s3images

❧❧ chown -R nobody:nobody
    /usr/local/apache/share/htdocs/s3js

```

ciii. 完了 インストール完了です。
インストールに使用したインストールファイルは必要でなければ削除し、サーバからログアウトしてください。



注意

Apache の設定（実行ユーザ、グループ）を変更している場合、上記インストールのままでは正常に動作できない場合があります。

設定ファイルを確認し、インストールされたファイルおよびディレクトリのオーナーを変更するようにしてください。

1.1.3.4 その他の商用 UNIXOS にインストールする

Solaris2.6 以外の、商用 UNIXOS をサーバとしてお使いになる場合、以下の OS が御使いただけます。

それぞれの OS に対応した、“SSS” のインストールモジュールを入手し、インストールしてください。

OS	バージョン
SunOS	4.1.3
Solaris	2.5.1、2.6、8



1.1.4 インストール後の動作確認

インストールが完了したら、ブラウザより“SSS”にアクセスし、正常にインストールされていることを確認します。

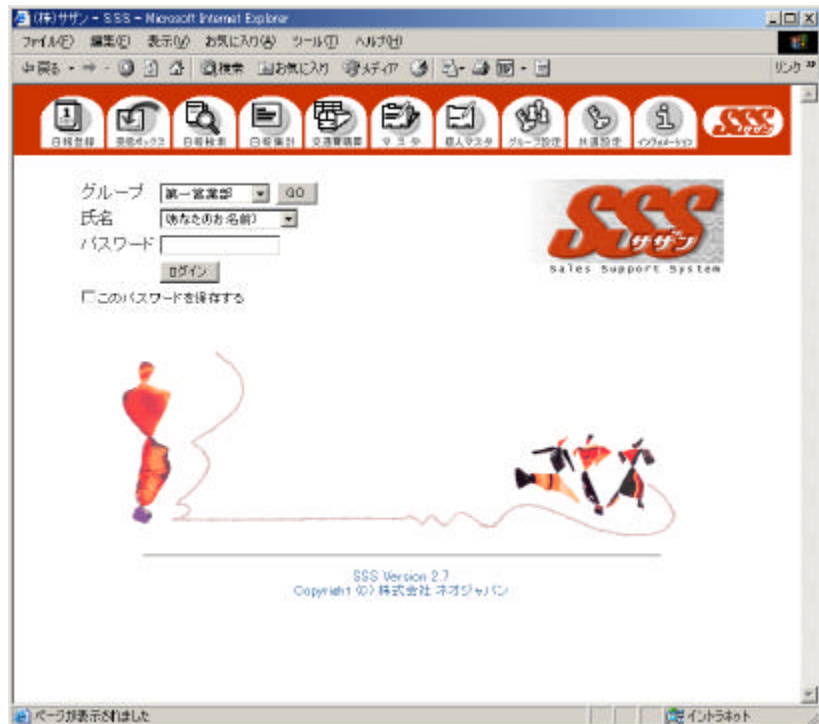
Windows2000 の場合

<http://サーバ名もしくはサーバの IP アドレス/scripts/sss/s3.exe?>

RedHatLinux6.1、Solaris2.6 の場合

<http://サーバ名もしくはサーバの IP アドレス/cgi-bin/sss/s3.cgi?>

以下の画面が表示されれば正常にインストールは完了しています。



インストール後の設定等については、次章「初期設定」をご参照ください。